

第2回みやぎ建設産業振興懇談会 会議録

■ 日 時 令和2年12月23日 午後1時から午後2時30分まで

■ 場 所 宮城県行政庁舎9階 第一会議室

■ 資 料

- 1) 資料1 (仮称) 第3期みやぎ建設産業振興プラン [中間案] 【概要】
- 2) 資料2 (仮称) 第3期みやぎ建設産業振興プラン [中間案] 【本編】
- 3) 参考資料1 第1回みやぎ建設産業振興懇談会における主な意見と対応状況について
- 4) 参考資料2 「建設産業振興に関するアンケート調査」実施概要
- 5) 参考資料3 東日本大震災後に許可を受けた建設業者の傾向について
- 6) 参考資料4 「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和元年10月末現在)
- 7) 参考資料5 (仮称) 第3期みやぎ建設産業振興プランの策定スケジュールについて

■ 出席者名簿(9名出席 2名代理出席)

増田 聡	座長	東北大学大学院経済学研究科教授
菅野 洋一	副座長	宮城県土木部次長(技術担当)
西村 博英	構成員	一般社団法人宮城県建設業協会専務理事兼事務局長
伊藤 俊一	構成員	一般社団法人宮城県建設専門工事業団体連合会会長
八木橋雄介	構成員	一般財団法人みやぎ建設総合センター事務局長
小野 嘉禎	構成員	東日本建設業保証株式会社宮城支店取締役支店長
森 洋一	構成員	宮城労働局職業安定部職業対策課長
	(代理 佐藤 幸男)	宮城労働局職業安定部職業対策課課長補佐)
吉田 光宏	構成員	仙台市都市整備局技術管理室長
遠藤 浩	構成員	宮城県教育庁参事兼高校教育課長
	(代理 吉田 浩二)	宮城県教育庁高校教育課主幹)

■ 会議経過

1 開 会

2 出席者紹介

事務局から、有働委員及び宮城委員が欠席であること、また、森委員及び遠藤委員については代理出席であることを説明した。

3 議 事

座長の進行により、次第に基づいて事務局から議題の説明が行われ、その後は委員から意見等が出された。

議題 (仮称) 第3期みやぎ建設産業振興プラン [中間案] について

事務局から、(仮称) 第3期みやぎ建設産業振興プラン [中間案] の内容について、資料1及び資料2を用い、次の4点を中心に説明が行われた。

(1) プランの位置付けについて

本プランは上位計画である（仮称）新・土木建築行政推進計画の個別計画と位置付けられ、上位計画で取り入れているSDGsとの関連付けがなされている。

(2) 宮城県の建設産業を取り巻く現状等について

建設投資額が減少するのに対し、建設業許可業者数が増加傾向にあるミスマッチなどの現状や、新・担い手3法など国の政策及び一般財団法人建設業情報管理センターの「地域建設産業のあり方検討委員会（宮城県）」報告書による提言等を踏まえ、基本理念「『地域の守り手』として宮城の県土づくりを担う持続可能な建設産業」と4つの基本目標「担い手の確保・育成」「生産性の向上」「経営の安定・強化」「地域力の強化」を設定する。

(3) プランの概要について

令和3年度から令和6年度までの4年間の計画として、基本目標ごとに指標とその数値目標を新たに定め、建設業団体等の関係者からなる「みやぎ建設産業振興プラン推進連絡会議」を開催し、目標値の取組状況の把握やその着実な推進を図ることとする。

(4) 施策体系について

4つの基本目標を推進する11施策と24の取組について、主な取組を継続、新規、拡充の表記を付けて整理している。

また、事務局から、第1回懇談会における委員の御意見への対応状況について参考資料1により説明し、東日本大震災後の建設業許可業者の傾向に関しては参考資料3により説明した。

あわせて、教育施策に関わる御意見に関しては、教育庁高校教育課吉田主幹から、高校再編を踏まえた建設業関連の教育機関の方向性や、教育現場に防災教育の側面から建設業の重要性を伝える余地、製造業のHPを通じた企業紹介の取組等について説明が行われた。また、外国人材に関する御意見に対しては、宮城労働局佐藤課長補佐から、外国人雇用状況や外国人技能実習生の新型コロナウイルス感染症の影響等について参考資料4を用いながら説明が行われた。

各委員の質疑応答は以下のとおり。

○西村委員

中間案に第1回懇談会の各委員の意見を反映していただき感謝する。目標値の設定により達成度を計れることは重要だと思う。

数値目標について、まず高卒者の就業割合が掲げられているが、今後も高校の建設系専門学科等を残していただきたいことを重ねてお願いする。また、令和6年に、ちょうど働き方改革関連法による罰則付き労働時間上限規制が建設業でも適用されることを考慮した目標値設定が望まれる。

売上高経常利益率を2%以上と設定しているが低すぎるのではないか。この数値で売上高経常利益率が推移した場合、担い手確保が難しいと思われる。この利益率も、復興係数があつての数値なので、今後しっかりと利益が出る仕事ができる環境を作っていただき、この目標値を上げていただきたいと思う。

経営の安定化では新分野進出ということもあるが、今後維持更新時代を迎える中で、担い手不足もあるのでしっかりと維持管理を担える企業が存続するように本業の強化を支援することが必要ではないか。また、建設業は、大雪になれば昼夜を問わず除雪作業を担っているが、過酷な環境の中で、今後そのような役割を担い続けることが出来るか懸念される状況である。国では来年度から除雪作業に

ついて最低保障を検討しており、山形県ではすでに導入されているとのことで、宮城県でもそのようなことを視野に取り組んでもらいたい。

○座長

建設業としてどうしても残さなければいけないキーのところは守りながら、選択と集中ということも必要かと思う。

KPIについては、頑張れば改善できるものと、高校生の就職のように長期的に見て減っていくのを止めるというものがあると思う。新しい視野でこの業界に入っていただくには、もう少し新しい試みが必要な部分もあるかと思う。4年間という比較的短い期間なので指標の数値を下げずに上げ始めるきっかけづくりが重要ではないかと思う。

○伊藤委員

数値目標を入れていただいたことは良いことだと思う。完全週休2日の目標値が52%以上というのは大変難しい。土木と建築でも違う。土木は達成できるが、建築は裾野が広く前工程と後工程では全然違う状況になる。例えば仮枠・鉄筋とかは週休2日でできるが、その影響で工期がなくなり、後ろの工程の左官・塗装・タイルなどは休めない状況である。週休2日で休んでいる人がほかの現場に行っているということもある。そのため生産性の向上や平準化とも連動してくる。確実に進めるには4週6休が現実的ではないか。休んだ分の費用はだれが出すのかということになる。工期と予算を連動して考えてもらいたい。

また、高校での出前講座など工業高校だけでなく普通高校も対象にしていきたい。そして、生徒に建設業をPRするには、まず先生の理解度が重要である。高校によっては熱心な先生がいて技能コンテストなどで成果を上げているところもあるし、学校によって女子生徒も技能者としてずっと働けるよう採用してくれるかと質問してくる教員もいる。いままで教員に説明する場がなかった。就職指導課の教員が参加してくれるような説明会の場を設けていただきたい。外国人材の活用では、受入れ実態と違う業種で検定を受ける事例などあるので指導していただきたい。

○座長

学校の先生もお忙しいとは思いますが、スキルを身に付けてずっと働きたいと思っている学生もいると思うので、ぜひそのような場を設けていければと思う。

○事務局

先生向けの取組に関する御意見があったが、プラン本編のP28にあるように、教育庁側の取組で県内の指定高校に配置されている連携コーディネーターと、今後連携を図っていきたいと考えている。コーディネーターに地域の建設企業の情報を伝え、生徒に伝わるように積極的に活用していきたい。また、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、今年度の新たな試みとして、高校の土木分野の先生方の会合の機会に建設業団体が参加できるように企画していた。高校に出向いて建設業の魅力を伝える「みやぎ建設産業架け橋サロン」は工業高校を中心に行っているが、第3期プランの4年間の中で普通高校にも広げていきたいと考えている。

週休2日については、建設業という括りの中でも企業の規模等で実態は異なると思うが、国が進めている週休2日の実現に向けて、総合工事業、専門工事業など建設業界全体の平均の数字として目

標値としたいと考えている。

利益率については、現状値は東日本建設業保証（株）がまとめている公共事業を受注した建設企業の平均であり、企業ごとのバラツキはあると思っている。また、西村委員の担い手確保の観点からの御指摘については、県としても認識しているところであり、あえて「以上」という設定にした。上昇する分には4%でも10%でもよいが、2%を下回ることがないようにということであると御理解いただきたい。一方で、統計としては平均値であることから、短期間で急激に向上するのは現実的ではないと考えているが、目標とする水準や他の指標の設定について再度検討したい。

○座長

利益率については平均値のほかにも、利益率の高い会社も見ていくとか、低い会社を底上げしていくなどいろいろな見地から御検討いただきたい。

○八木橋委員

高等技術専門校の再編が話題になっているが、1校に集約するという案が有力となっているので、その中で建設分野を残していただき、活用を進めていくことが望ましいと思う。

○事務局

高等技術専門校の再編については、検討過程において専門工事業団体連合会の御意見等をお伺いし、当課を通じて担当課の経済商工観光部産業人材対策課に伝えているところである。同課の検討状況は確認していないが、建設業の技能を学ぶ場をなくさないようにということをお願いしているところである。

○座長

リカレント教育の場としても必要だと思うのでよろしくお願ひしたい。また、専門職大学なども含め職業教育機関の情報収集が必要かと思う。

○小野委員

議論されてる売上高経常利益率については、かつては国の機関が公表していたが、現在、建設業の財務状況を県別にデータを出しているのは東日本建設業保証（株）のみである。

宮城県の売上高経常利益率は、震災後に上昇したものの平成28年度を境に下がってきており、現状の2.58%という数値は東北6県では最も低く、東日本で茨城県に次ぐ2番目に低い数値で、東日本平均では3.39%となっている。経常利益率は工事の粗利から販売費や一般管理費を除いて算出されるが、宮城県の特徴としては、粗利自体は大きい販売費や一般管理費が大きく、最終的な利益が低くなっている。更に詳しく分析を試みているところである。

○座長

地域経済の分析としても気にしなければいけないところであり、成果を御紹介いただければと思う。簡単に言うと企業が多すぎることがコスト高になっている一因かと思う。

プランについてこのような指標を追加してはどうかなど御質問があれば事務局に伝えていただき、座長である私と事務局とで整理して皆様にお諮りしプランに反映させていきたいと思う。

○西村委員

本編3ページ目に自然災害についての記載があるが、このような災害に対応できる地域の守り手となる建設企業が残っていかなければいけないので、災害対応を評価できる入札制度をお願いします。

その中で除雪についても総合評価で加点項目となっているが、実績が適切に評価されることが必要と考えている。しかしながら、仙台市内に県管理の路線はなく、仙台市管理の県道の除雪を受託している業者は、総合評価で優良評価が受けられずに、他地域での除雪実績企業より管内での評価が低い実態がある。しっかりと取り組んでいる企業が公平に評価されるようお願いしたい。

○座長

どれくらいの能力を持ち続けなければいけないのかというのはあると思うが、除雪や水害などを防ぐベースラインの検討も必要かと思う。

本日欠席の宮城委員から御意見を預かっているということで、オブザーバー参加のみやぎ中小建設業協会の櫻井事務局長から発言をお願いします。

○櫻井事務局長

宮城会長に代わって申し上げます。1つ目は、担い手確保に関連して、65歳以上で働いている人も多くなっている現状を踏まえ、生産年齢を70歳までと捉えるのはどうか。

2つ目は、今後は女性を確保していくことが必要と考えるので、更なる労働環境の充実や処遇改善を図ることが重要と考える。また、近年の若者は休日を重視するので、中小建設業にとっては休日確保・増加が最大の課題ではないかとも考えているので、各企業の努力はもとより発注者側の協力と理解が必要となってくるものと考えている。

3つ目は、全般的な話として、中小企業では一気に各施策に取り組めるものではないので、一つ一つ確実に進めていきたい。

最後に戦略的広報活動として、高校での建設業関連の就職ガイダンスの説明会を定期的に開催し、ものづくりの楽しさなどを伝え、建設業に興味を持ってもらう活動が重要ではないかと考える。

○座長

今の御意見も踏まえて中間案を詰めていきたい。事務局からコメントをお願いしたい。

○事務局

西村委員から新分野進出に関して御意見があったが、確かに本業の強化が重要であると考えているが、一部でも新分野進出に取り組む企業があれば、県としても応援するという趣旨であることを御理解いただきたい。

○座長

概ね中間案全体としては皆様に御理解いただいたと思う。本日の意見を議事録に起こして付け加えるべきものを入れて、パブリックコメントに付していただきたい。言い残したことや気付いたことがあれば、早めに事務局にお伝え願いたい。

4 その他

今後のプラン策定に向けて、事務局からスケジュールを参考資料5に基づき説明するとともに、菅野委員からコメントがあった。

○事務局

令和2年12月23日	第2回みやぎ建設産業振興懇談会
令和3年1月下旬～2月下旬	パブリックコメントと建設業関係団体の意見聴取
3月5日	第3回みやぎ建設産業振興懇談会（プラン最終案の意見聴取）
3月	プラン策定

○菅野委員

貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。本プランのように指標を設けて数値目標を定めるというのは他県の建設産業振興に関するプランでも例が少ない。次回には、本日の御意見やパブリックコメント等を踏まえた検討の上、御提示することとしたい。引き続き御協力をお願いしたい。

5 閉 会

以 上